

671 高等試験問題

〔『法学新報』第31卷10(358)号 大正10年10月5日〕

○高等試験問題 去月中施行せられたる行政科及ひ外交科高等試験問題左の如し

○行政科

憲法

一 国家否定の思想ヲ論すへし

二 予算の効力を説き其不成立の結果如何迄に及ふへし

行政法

一 行政処分は無効を論して其行政処分の不成立との異同に及ふへし

二 営造物利用関係を論す

民法

一 時効の援用を論す

二 契約の解除と其契約に依りて生したる最後の弁済として為されたる物体の譲渡又は契約に依りて直接生したる物権の移転に及ぼす効力を論す

刑法

一 責任能力の観念を説明すへし

二 傷害罪の要件を説明すへし

刑事訴訟法

- 一 公開主義を説明し並に其例外の場合を説明すへし
- 二 刑事訴訟手続に於て如何なる場合に人の住居に入るを得るや

民事訴訟法

- 一 裁判所の管轄に付き合意の効力を説明すへし
- 二 訴の意義及び其種類を説明すへし

財政学

- 一 我国に於ける直接税の体系を論すへし
- 二 公債政策と社会政策との関係を論すへし

商法

- 一 手形裏書の本質及び効力を論すへし
- 二 預証券所持人の質入証券所持人に対する義務を説明すへし

国際公法

- 一 永久中立国を論す
- 二 敵国私有財産に関する陸戦法規と海戦法規との差異の著しき点を挙げよ

経済学

- 一 賃金高低と生活費との関係を説明すへし
- 二 不換紙幣の価値を論す

○外交科

憲法

- 一 領土及租借地の国法上の性質を論す
- 二 我か憲法に於ける司法権と行政権との関係を論す

国際私法

- 一 当事者の本国法に依るべき場合に若し其の当事者か出生に因り二箇の国籍を有するときは如何にすへきか
- 二 消滅時効の準拠法如何

国際公法

- 一 義務的仲裁裁判を論す
- 二 戦事に於ける個人の地位を論す

経済学

- 一 価格の決定につき需要供給と生産費との関係を説明すへし
- 一 自由貿易論の根拠を略述すへし

外交史

- 一 欧洲国際政治に於ける白耳義の地位につき論述せよ
- 二 ナポレオン三世の対伊政策並に其成敗を説明し且論評せよ

刑法

- 一 因果関係及び其中断を論すへし
- 二 詐欺取財罪と恐喝取財罪の区別を明にし且甲者乙者に対し或新聞紙か乙者の悪事醜行を其紙上に掲載せんとするもの如く偽り乙者をして畏怖の念を生せしめ其記事の差止を担任する事を名として乙者より金員を騙取したる所為は其の何れに該当するやを説明すへし

商法

- 一 手形の振出人は其所持人に対し如何なる抗弁を対抗することを得るや
- 二 株式の性質を論すへし

民法

- 一 手形の振出人は其所持人に対し如何なる抗弁を対抗することを得るや
- 二 株式の性質を論すへし

民法

- 一 法律行為の無効の原因を明示し其追認の効力を説明すへし
- 二 債権者の交替に因る更改と債務の引受との區別を弁明せよ

英作文

皇太子殿下御外遊に関する感

行政法

- 一 市の自治権に属する事務範圍を論せよ

- 二 所有権の警察制限と公用制限との差異を論し其の实例を示せ

財政学

- 一 財政と国民經濟との關係を論ず

- 二 重複課税を論ず